文化の風 南から

枕崎の芸術・文化の各分野で活躍している方々のエッセイを毎月紹介します。

音楽で人づくり、まちづくり

「枕崎は音楽文化が盛んだ」とよく耳にします。年齢もジャンルも様々。私のように趣味でしている人もいれば、多方面で活躍している人もいます。でも、音を楽しみながら「人も楽しませたい。枕崎を元気にしたい」という想いは一緒です。

私は中学生の時に友だちの影響でフォークギターに目覚め、また、友だちがドラムセットを購入したのを機に、バンドを組んで演奏するようになりました。中学卒業後は音楽から離れていましたが、帰郷を機に、昔の仲間たちと再度バンドを結成して音楽活動を再スタートしました。現在は2つのバンドで活動しています。

みんなの音が融合して生まれるのがバンド音楽。音を奏でる楽しさ、演奏をしていて感じるグルーブ感に演奏する度に惹きこまれていきます。日常のストレス解消もありますが、何よりも心を奮い立たせるような、わくわく感や向上心が芽生えます。

また、音楽を通してたくさんの人と出会い、ふれあい、多くのことを学び吸収することで、自分自身、成長することができています。続けられる限り、ずっと続けていきたいです。

現在は活動していませんが、15年前に枕崎で「サウンドM's」という音楽サークルが発足しました。10組ほどのバンドが参加して、定期的にライブや「きばらん海」のサマーライブの企画運営等の活動を行い、それぞれのバンドがコミュニケーションを図りながら、切磋琢磨してきました。

それぞれのバンドがいろんな所に出ていき活躍の場を広げていきました。その代表的なバンドがARTSです。当時のジャンルはアコースティックやポップス・ロックでしたが、ある時期からスカバンドになり、現在でも、県内外問わず多方面で活躍しています。ARTSの存在は、枕崎の音楽文化を変化させ、サウンドM's の活動も活性化させました。

そして昨年末、枕崎市内の音楽仲間の忘年会（まく音遊忘年会）を初めて開催したところ、70名もの参加がありました。その際、驚いたのが、一人ひとりが個性豊かで、それぞれの分野で活躍している方も多く、改めて枕崎の音楽文化の層の厚さを感じました。

昨年、観光PR用のCDを作る話をいただき、1年越しで制作したCD「まく旅」には、2組のバンドのオリジナル曲を2曲ずつ収録しています。それぞれ、枕崎の特産品やおすすめスポットなどを楽曲の中に取り入れています。また、ジャケットは枕崎出身で、現在有名アーティストのジャケットデザインを手がけている、We Love MAKURAZAKIステッカーでもおなじみの山崎英樹氏にお願いしました。

音楽でまちを元気にすることは、なかなか表に現れないことですが、リズムや歌詞を耳にして想像してもらう、または音楽に乗ってもらうことで元気をもらったり、与えたりできればと思います。このCD「まく旅」が、新しい出会いを呼び、枕崎のPRと活性化に繋がればと願っています。

▲CD「まく旅」ジャケット

市田 芳一（48）
いちだ・よしかず

折口町在住。CHI-ZOU、すんくじらブラザーズバンドでベース担当。CHI-ZOUでは昨年、MBCラジオの音楽番組のリスナー投票で「まく旅物語」（CD「まく旅」に収録）が月間1位を獲得。

新刊紹介

●鹿児島学
岩中 祥史（著）

○えんぎもん
青山 友美（作）

注目本

●夢をかなえるゾウ２
～ガネーシャと貧乏神
／水野 敬也（著）

○かいけつゾロリ
なぞのスパイとチョコレート
／原 ゆたか（さく・え）

●一般書　○児童書

ホームページ（市からのお知らせ）に、すべての新着本の情報を掲載しています。ぜひご利用ください。
※図書館内掲示板（玄関前）、１・２階カウンターの新着本リストでもすべてご覧いただけます。

☆「えほんらいぶ」開催

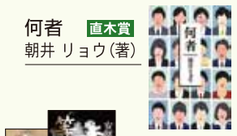
本市出身の林沙也歌さんを講師に迎え、参加型の読み聞かせパフォーマンス「えほんらいぶ」を開催します。
期間　３月16日（土）　午後３時～
※詳細については関連記事15㌻をご覧ください

新１年生にすすめる本展

新入学児童向けの本や春をテーマにした本を展示・貸出しします。
期間　３月18日（月）～４月７日（日）

決定！第148回芥川賞・直木賞

芥川賞
abさんご
黒田 夏子（著）


何者　直木賞
朝井 リョウ（著）

等伯　直木賞
安部 龍太郎（著）

図書館だより

No.251

市立図書館　72-9254
★開館時間９：30～18：00

カレンダー　3月10日～4月13日

日	月	火	水	木	金	土
3月 10	11	12	13	14	15	16 ★
17	18	19	20	21	22	23 ○
24	25	26	27	28	29	30
31	4月 1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13

□休館日　☆イベント
○おはなしのへや　午後３時～（絵本と紙芝居の読み聞かせ）

■「謎掛け」の答え…どちらもアク（灰汁、悪）を取り除くことが重要です。

クイズ！カツオぞりくん

■JR枕崎駅の新駅舎も工事が進み完成も間近に迫りました。楽しみですね。そこで駅に関する問題です。JR指宿枕崎線上りで枕崎駅を出発し次に停車する駅は次のうちどこでしょう。

①鹿籠　②薩摩板敷
③白沢　④薩摩塩屋

【先月の答え】①トルコ

今月のプレゼント

特産品詰合せ（５名様）
【提供】枕崎お魚センター

お便り紹介

しばらく枕崎を離れていましたが、1年半前に病をきっかけに戻ってきました。数か月が経ち、少し元気も出てきたので、広報紙に載っていた南溟館の催しを見て「展示会で静かな所なら行けるかもしれない」と思い切って外出しました。「南溟館に行ってみようかな」と言った私に母は久しぶりに嬉しそうな笑顔を見せてくれ、私も励みになりました。主治医の先生からは「少しずつ運動をすれば元気になりますよ」とアドバイスをもらい、南溟館裏の木の散歩道を歩き始めました。花や木の緑、鳥のさえずりは心を癒してくれます。ほかにも枕崎でトレッキングができる所はないでしょうか？教えてください。（匿名）

お便りあいがともさげます。今から暖かくなって、歩いてさるっともますます楽すなってくっどなぁ。建設中の新駅舎が出来上がる様子を見つつ、そこを起点に駅通りや市役所通りに展示しちょい芸術作品を見ながい歩っともオススメだっど。市街地をちょっち離れて木口屋あだいに足を延ばすっと自然の緑も豊かで眺めも良く、良か～深呼吸がでくっど。

●●●

1月号と2月号の表紙、可愛くて、生き生きしていて見とれてしまいました。どこを開いても子どもがいる。〝すばらしい〟草ばかりの狭い私の家の庭には老木に梅のつぼみ、そしてマキの木にはツグミが毎日遊びにきています。（匿名）

あいがともさげます。ツグミの来客良かですね。子どん達の写真の表情はどれも楽しげで良がえな。昨年の9月号の表紙写真は県の広報コンクールで入選しもしたど。

●●●

前述の9月号の写真と共に8月号の広報紙が県の広報コンクールで入選したドリ。その号の7ページの組写真は特選を受賞し、広報紙と共に全国広報コンクールに推薦されたドリ。嬉すごあんドリ～。

★**応募方法**　ハガキもしくはメールにて、氏名・ペンネーム・住所・電話番号・年齢・性別・クイズの答え・本紙へのご意見やご要望、枕崎への想いや身近にあった出来事などを記入の上応募ください。いただいたお便りは、ご紹介させていただく場合があります。文章は添削させていただく場合があります。

★**応募先**　〒898-8501　枕崎市千代田町 27 番地「枕崎市役所総務課秘書広報係」宛
E-mail：koho@city.makurazaki.lg.jp
★**応募締切**　３月 29 日（金）　※当日消印有効
★**当選発表**　当選者には総務課秘書広報係から連絡します。賞品を同係まで取りにきてください。
★**問合せ**　総務課秘書広報係 TEL72-1111(内線 211)

枕崎弁『すんくじら狂句』

●兼題［節分］

鬼は外　鬼嫁居ればこそ　福は家庭（D作どん）
落花生で　福は口から　節変わい（春翁）
ふれをする　縁の格子を叩っ　節変わい（嘉翁）
（唱）昭和十年　節分風景
孫を泣がせっ　頬ずりするも　ゆるされじ（俊ちゃん）
（唱）だっで鬼さんぬ　すごんながった

バレンタイン　ハートの腹皮　薩摩義理（曾良似）
のさんこっ　海かい空がい　侵入者（元海保）
湯たんぽを　猫と奪こかだ　いさごかだ（サキエばさん）
（唱）布団のながで　ごもんぞもんぞ
香る出汁　踊るカツオに　唸る舌（枕崎鰹ふなどめし）
（唱）節の日響く　えんやらやの声
唱＝ちゃんサネ♪

謎掛け

「出汁」とかけてなんととく、「警察」ととく、そのこころは？
※右㌻左下に答え

■来月号の兼題は「虫」、投稿は総務課秘書広報係　TEL72-1111(内線211)

南溟館 イベント情報

開　9:00 ～ 17:00
※入館は 16:30 まで
休　毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問　TEL72-9998

有村航平＆塩屋祐典デュオ・コンサート

鹿児島市を主な活動拠点に、クラシックをベースにしながらジャンルの枠を超えた音楽・芸術を追及する有村航平氏（チェロ、第37回鹿児島市春の新人賞受賞）と塩屋祐典氏（ギター・ピアノ、第38回鹿児島市春の新人賞受賞）によるデュオコンサートを開催します。

●**日時**　３月17日（日）　開場＝午後２時30分、開演＝午後３時
●**会場** 南溟館（第２展示場）
●**入場料**　一般＝2,000円、大学生以下は無料
●**チケット販売所**　南溟館（TEL 72-9998）、市役所売店（TEL 72-1111）、市立図書館（TEL 72-9254）ほか
●**主催**　有村航平・塩屋祐典デュオコンサート実行委員会、風の芸術展実行委員会

海上特攻にまつわる映画・写真展「南溟の海へ～ある少年水兵の秘話・悲話」

今から68年前の昭和20年4月7日、枕崎沖200kmで「戦艦大和」を含む６隻の船が戦没し、多くの前途有為な若者の尊い命が失われた海上特攻にまつわる映画の上映や写真、模型（200分の1、戦艦大和、駆逐艦雪風・冬月）などを展示します。

●**会期** ４月６日（土）、７日（日）
●**会場** 南溟館（第１展示場）
●**観覧料** 無料
●**主催**　枕崎観光ボランティアガイドわだつみ会、枕崎市通り会連合会